

フルーツファーム

人からしてほしいと思う通りに人にもする

Vol.13

2020年2月号



新装

フルーツファーム



— あいさつ 理事長 乾祐子

— あいの実の生活介護で成人式

— ありがとう！10年以上在籍スタッフ

— エンジェルウォーター始めました

特集

例えばラズベリー

日本でも有数の重症児受け入れ通所施設の現状をレポート

□ NPOあいの実理事長
 □ 一般社団法人全国重症児デイサービス・ネットワーク代表副理事
 □ 昭和27年生まれ 仙台市出身
 □ 平成17年に主婦数人と共に「NPOあいの実」設立。自身や子供たちも特定難病疾患を経験し、それらの経験を生かした「弱い人を理解できる・頑張っている人を応援する経営」をめざす。



あいさつ

NPOあいの実
 理事長

乾 祐子

NPOあいの実理事長の乾祐子です。四年に一度のオリピックイヤー。2013年に東京オリンピックが決まった時は、はるか彼方のふんわりした2020でしたが、ついにその年がはつきりした形でやってきました。

私たちはといへば、オリピックに浮かれている暇はありません。むしろ、この特別な年を利用者さんたちに快適に過ごしていただくためにさらに頑張る必要があります。

2020年はあいの実の組織強化の初年度になります。あいの実のサービスがずっと続いていくという保証は利用される方たちの安心感につながります。あいの実が力強く前進し続けること、きちんとした経営を行い基盤を強化することは、喜ばれるサービスを作ることと両輪の関係にあります。あいの実を利用してくださる方たちに信頼感を持っていただけるようこれからも邁進していきます。

法人理念である「人からしてほしいと思う通りに、人にもする」を時々熟考していただきます。考えれば考えるほど、さすがゴールデンルール、素晴らしい理念だと感じます。すべての行動の根底にこの理念を忘れなければ、他の人の満

特集

例えばラズベリー

あいの実は重症児・者に特化したデイサービスを二カ所開設している。例えばラズベリーは日本でも有数の重症児受け入れ通所施設。その現状をレポート

仙台市西部、泉区内の住宅街の一角に、あいの実北中山事業所がある。この建物に入るのが重症児者のための通所施設が「ラズベリー」。あいの実が運営する重症児を対象とした二軒の放課後デイ

サービスのうちの二軒だ。

一見すると何ら変わらない普通の放課後デイサービスのよう。たまに大きなワゴンの送迎車が横付けされて子どもたちが中に入っていくくらいで、特段変わったことも無いように見える。実はこのデイサービスが全国的にも名の知れた、日本有数の重症児受け入れ通所施設なのだ。

決断

この場所は、かつてあいの実の本部事務所があった場所で、重症児のために改装された建物だ。あいの実はもともと訪問介護を行っていたが、その中で重症児との関わりが増えた。いつかは重症児のためのデイサービスを作りたいと思っただけで、人員要件なども厳しく、経営が成り立つのかと二の足を踏んでいた。「重症心身障が

人からしてほしいと思う通りに
 人にもする

足だけでなく、自分の幸福感も増していきます。この理念が事業所全体に浸透していくようこれからも努力していきます。今後あいの実をよろしく願っています。

Fruit Farm から フルーツファーム へ

三年間にわたって12号発行してきた「FruitFarm」ですが、体裁を新装して「フルーツファーム」になります。発行も年四回から、年二回に変更されます。これまで通りあいの実の最新の情報や活動への思いの発信の場として活用していきます。今後もあいの実とフルーツファームをよろしく願っています。

い児」の行き場は限られていた。重症心身障がい児を対象とした放課後デイサービスは新しい制度で、当初は、「子どもを預けて大丈夫だろうか」という親の不安、「重症の子を預かって大丈夫だろうか」という事業者の躊躇が制度の広がりを妨げていた感は否めない。また、制度自体もまだ実情に合ったものとは言い難かった。

そんなところ、平成26年、名古屋のNPO「ふれあい名古屋」(現・社会福祉法人ふれあい名古屋)の鈴木理事長と出会った。このNPOはすでに複数の重症児のためのデイサービスを運営していた。あいの実の幹部数人が名古屋へ飛び、施設見学と鈴木理事長の話聞き、強く背中を押された。結局この出会いから約4か月後、平成26年9月に重症児を対象とした放課後デイサービス「ラズベリー」

を開設することになる。

開設までの4か月間はてんやわんやの大騒ぎだった。事務所の改装工事や人材の採用。担当者はストレスで気分が悪くなる思いを何度もしていた。しかし、様々な方たちの支援、仙台市の協力などもあり無事に開所にこぎつけることができた。あいの実の訪問介護事業での知名度と信頼も後押ししてくれたに違いない。

ラズベリー

ラズベリーのスタートは静かなものだった。年度の途中ということもあったが、登録者は4、5名。一日の利用者は一人か二人といった閑散としたものだった。制度自体が知られてないうえに、親御さんも様子見だったのだろう。大事な我が子を安心して預けられるのかという不安を解消するには少々時間が係ることは容易に想像がつく。「信頼」とは簡単に得られるものではないということを変更して感じる時期でもあった。

ラズベリーは大きく分けて三つの事業を行っている。一、未就学児の児童発達支援、二、就学児の放課後デイサービス、三、成人のため

のデイサービスである生活介護。一日の定員は児童発達支援と放課後デイを合わせて5名、生活介護はそれとは別に5名の定員で、三つの事業合わせて一日の定員は10名となっている。

ともかく、あいの実は一歩を踏み出し、少しずつ親御さんの信頼を得、あいの実のスタッフも知識と技術を身に付けて成長してきた。その結果は当初予想していたものをはるかに超えるものだった。



写真:ラズベリーが入る北中山事業所

判定スコア

- (1) レスピレーター管理=8
- (2) 気管内挿管、気管切開=8
- (3) 鼻咽頭エアウェイ=5
- (4) O₂吸入または spO₂ 90% 以下の状態が 10% 以上=5
- (5) 1 回/時間以上の頻回の吸引=8
6 回/日以上以上の頻回の吸引)=3
- (6) ネブライザー 6 回/日以上または継続使用=3
- (7) VH=8
- (8) 経管 (経鼻・胃ろう含む)=5
- (9) 腸ろう・腸管栄養=8
- (10) 接続注入ポンプ使用 (腸ろう・腸管栄養時)=3
- (11) 継続する透析 (腹膜灌流を含む)=8
- (12) 定期導尿 3 回/日以上=5
- (13) 人工肛門=5

※この表は平成30年度障害福祉サービス等報酬改定で示されたスコア表。超重症児・準超重症児の判定スコア表とは若干異なる。ここでは、全国の重症児デイサービスが用いているスコア表を用いることで他事業所と比較しやすくしている。

超重症児・準超重症児

あいの実の放課後デイサービスの特徴は入浴サービスだ。どんなに重い症状があっても、たとえ人工呼吸器をつけていても、お風呂に入って家に帰るといふ、家族が待ち望んでいた目玉事業だ。そのためラズベリーはたちまち満員になり、二件目の克蘭ベリーが開設された。結局克蘭ベリーも満員状態になっていくことになる。そ

して、ふと気づくと、ラズベリーは超重症児・準超重症児の大集団となっていたわけである。

超重症児とは、重症児のなかでも医学的管理下におかなければ呼吸をすることも栄養を摂ることも困難な障害状態にある障害児のことで、超重症児スコア表※を用いて必要な医療処置によって点数を付け、スコア25点以上を超重症児、10点以上を準超重症児としている。

放課後デイサービスの登録者20名のうち実に17名が医療的ケアを必要とする子どもたち。その中で準超重症児が9名、超重症児が6名で、超重症児のうち4名がスコア30以上という。しかも、これは放課後デイサービスの話である。児童発達支援にも生活介護にも超重症児・者がいる。ここまで重症の子どもたちを受け入れていく施設は日本では数えるほどしかない。「どんなに重い障がいがあっても受け入れる」という当初の決意が実を結んだともいえるが、まさかここまで重症児が利用して

くれるとは思ってもみなかった。ラズベリーでは、胃ろう、経鼻経管、気管切開部の処置、吸引、吸入、呼吸器管理、またカニューレ自己抜去時の再挿入など、病院を思わせるようなサービスを実施している。

確かに、症状が重い子や、人工呼吸器の子にサービスするのはリスクがある。病院ではないため医療行為は原則行えない。現場で重症児を預かるスタッフの受ける潜在的ストレスは大きい。でも、大変だからこそ家族のためになる。普段はこれらの医療的ケアを家族



が担っているのだ。重症児の支援は、支援を受ける側の波及効果が非常に深いのだ。親や兄弟姉妹が感じていたストレスを少しでも肩代わりできたなら、本望だ。

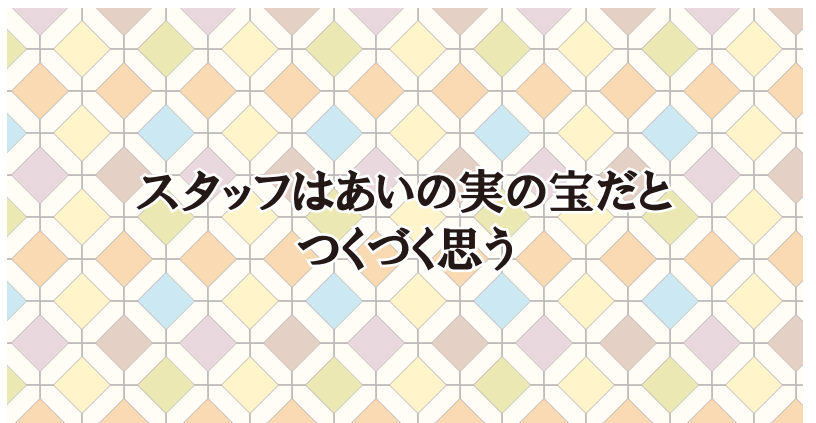


大変だからこそ、家族のためになる

重症児デイの問題点

重症児デイの問題点は、一言でいえば人材育成だ。あらゆる業界で人不足が起きているわけだが、とりわけ介護業界の人手不足は希望を見出すのが難しい。人材が流出するだけで、流入してくる人材がほとんどいないのだ。さらに、あいの実のサービスには高い技術が求められる。入職希望者が来て実際に現場を見てもらうと、ほとんどの人はサービスの意義を感じながらも「自分には無理だ」と思ってしまうのが現実なのだろう。志ある方が入職したとしても、ついていけずに離職するケースも少なからずある。現場は本当に壮絶なのだろうと想像がつく。

一方、そんな中でも明るく真剣に業務に向き合ってくれるスタッフには頭が下がる。小児分野で経験を積んできた幹部職員は「今ではかなり高度な医療的な会話ができるようになり皆成長した」と笑みを浮かべる。開設当初のスタッフの状況を知るからこそ喜びだろう。小児介護の分野では素人同然だったスタッフが困難な状況に負けずに訓練を重ねた結果、この分野ではエキスパートになろうと



スタッフはあいの実の宝だと つくづく思う

している。こうしたスタッフはあいの実の宝だとつくづく思う。これからも強い志のある優秀な人材を採用していきたいと思っている。

もう一つ問題があるとすれば、行政の理解の問題だ。あいの実のある仙台市は小児在宅介護について理解が深いと感じている。これまでも様々協力いただき感謝している。ただ、どこでも仙台と同じというわけではない。あいの実理事長の乾祐子は、一般社団法人重症

児デイサービス・ネットワークの代表副理事を務めており、全国の行政の情報が入ってくる。中には首を何度も傾げたくなくなるような対応の行政の話もよく聞く。つまり重症児者が受けられるサービスに地域格差が生まれてしまっているのだ。自分のところは大丈夫だからと知らん顔をするわけにはいかない。これからも全国の同業者と連携していくことが課題となっていくだろう。

今後のラズベリー

これからのラズベリーでもっとも大切なのは「続けていくこと」だ。重症児と家族にとっては、生活の生命線となっていることさえある。

もう一つは受け皿の拡充だ。大きくなって大人になっていく子どもたちの行き場を十分に用意しておくことは、ラズベリーをより意義のあるものにする要素の一つだ。重症心身障害児のための生活介護の拡充、重症心身障害児も入れるグループホームなど、あいの実がやるべきことはまだまだたくさんある。

あいの実の生活介護で成人式

子どもが育ち、大人の仲間入りするのは親にとって特別な時となります。まして、障がいと共にお子さんと歩んでこられた親御さんにとってはひとしおでしょう。あいの実では二人の方が成人を迎えられました。新成人の親御さんにインタビューしました。

高橋さん



生まれた時から大変で、何度も命の危機っていうのがあって、その度に運の強い子だなあと思って思うような出来事がたくさんあって、そして無事成人式を迎えることができました。本当に今までいろんな人に助けてもらって、あまりにも気合が入りすぎたので、こんなのぼりとか、盛大にお祝いしたいという気持ちで作ってしまったんですけども、振り返ってみると、本当に困った時にはこの子が自分で助けてくれる人を引き寄せてくれたりとか、ちょうどいいタイミングで誰かが助けてくれたりとか、すごく運を持っている子だなあと、自分が努力したっていうよりは、この子が引き寄せてくれた運を上手に使って今

までこれたなというふう
に思っています。
今まで助けてもらったた
くさんの人たちと共に、残
念ながら大人になれな
かったお友達もたくさん
いるので、お友達の分も一
緒にこれからもしっかり
生きていきたいとおも
います。ありがとうございます。

佐々木さん



この間、成人のお祝いしてあげるからと言われて母に会いに行ったとき、よく20年間この子育てたねって言われました。確かに頑張ってきたのかなって。でもその頑張りって周りの皆さんのおかげだということね。・(涙)なんかこの子
のことをしゃべると涙がでちゃって。無我夢中で育ててきたから何が大変とか何が楽しかったって、なんかすごいつらかったこととか全然覚えてなくて。この人の笑顔を見るのは楽しかったんです。ただ2年前に私がくも膜下出血で入院した時に本当に周りの皆さんに助けてもらって、それだけが感謝です。これまでずっと20年間本当に周りの皆様に助けられてきたこと

だけがありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。この子の人生はやっぱり痛いこととか辛いこといっぱいあって大変だったと思いますけどよく頑張ってくれました。私たち両親2人も、この子の笑顔を見れば何でも忘れるよなって。一生懸命いろんなことあったけど頑張って乗り越えてきました。これからもこの人の笑顔見るの楽しみにして、笑顔だけは絶やさず皆に好かれるように生きていつてもらいたいです。これからも周りの皆さんに助けてもらうことたくさんあると思いますけど、その笑顔でみんなをちよっと幸せにしてあげてください。



生活介護の仲間と一枚



ありがとう！10年以上在籍スタッフ

あいの実に10年以上在籍しているスタッフを紹介していきます。
長年に渡ってNPOあいの実を支えてくださる大切なメンバーです。これからもどうぞよろしくをお願いします！



乾 将久さん（事務長）
スタッフ登録：2009年4月1日

あつという間の10年であり実感がありませんが、事務所の移転のたびに仕事が増えた気はします。スタッフ、利用者様どちらにとってもより良い事業所になるべく裏方として今後も努力していきたいと思っています。



助成・支援情報



大塚商会「たのくんからの贈り物」から寄贈品をいただきました！
大塚商会の通信販売事業「たのめる」において、パッケージ破損などで戻し入れになった商品や季節商品などをNPO団体や福祉施設に寄贈する社会貢献プログラム「たのくんからの贈り物」から寄贈品が届きました！
大きな段ボール6箱が届きました！トイレットペーパー、ティッシュペーパー、文具などです。消耗品をいただけるのは本当にありがたいです。ありがとうございます！

超強力除菌

次亜塩素酸水 エンジェルウォーターはじめました

毎年冬になると不安になるインフルエンザ。NPOあいの実では様々な感染予防にも力を入れてきましたが、新たな感染予防に取り組んでいくことになりました。



エンジェルウォーター生成器

あいの実の新たな感染予防の取り組みが「エンジェルウォーター」です。エンジェルウォーターとは次亜塩素酸水のことで除菌消臭効果の高い水のことです。肉業界で利用されていたもののですが、昨今は医療や福祉の現場でも利用されるようになってきました。殺菌効果は消毒液の80倍ととても高く、インフルエンザやコロナウイルス、アルコールでも除菌ができません。アルコールでも除菌ができません。それだけでなく、食品添加物と水だけという魔法のような水です。

こちらのエンジェルウォーターを事業所内で安定供給すべく、エンジェルウォーター生成器を導入しました！高かった！（涙）でもこれでスタッフ、利用者、健康が守られるのであれば安いものです。利用方法は様々ですが、エンジェルウォーターを希釈して加湿器（超音波式）から噴霧するのが効果的です。事業所に設置された加湿器から殺菌効果のある水が空気にどんどん溶け込んでゆきます。次亜塩素酸水は菌などの有機物に触れて除菌消臭効果を発揮した後分解されて普通の水のみが残ります。他にも、調理器具の掃除や部屋や自動車の消臭、トイレの掃除、おう吐物の処理など様々な用途に利用することができます。この水をあいの実スタッフだけでなく、あいの実ご利用の方、そして賛助会員の方に実費でお分けすることになりました。事業所内だけでなくご家庭でも利用していただくことで、本人と家族も守られることになりそうです。ぜひご利用いただければと思います。加湿器は必ず超音波式のものをご購入ください。超音波式加湿器は性能により様々ですが数千円で購入することができます。詳しくはあいの実ウェブサイトに。

NPOあいの実寄付者名簿

(敬称略) 2019年1月～2020年1月※

岩手県 特定非営利活動法人 六等星
 盛岡市
 宮城県 伊藤清子
 仙台市宮城野区
 仙台市青葉区 牧野あかり
 仙台市泉区 金須利子
 埼玉県 特定非営利活動法人 あいのいえ
 さいたま市西区
 千葉県 久保雅江
 習志野市 岡部修
 松戸市
 富山県
 魚津市 野島比呂司

編集後記

体裁が変わったフルーツファーム。編集としては横書きから縦書き主体になったのが大きな違いでした。人間の感覚は不思議なもので、横書きで書くのと縦書きで書くのでは、書き手の感情が若干異なるような気がします。パソコン・スマホ世代は雑誌や新聞で縦書きを目にはしても自分で縦書きで文章を打つことはほとんどありません。縦書きは、日本語でありながら新鮮な気持ちにさせる新しい体験でした。

正社員・パート職員を 随時募集しています！

訪問介護

看護師・介護福祉士・ヘルパー等

風通しの良い職場で確かなスキルを身につけることができます。やりがいのある仕事を求めておられる方はもちろん、キャリアアップのために、またご家族の生活を支えるために働けます。介護未経験者＆ブランク有の方大歓迎！

障がい児(者)通所

看護職員・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・保育士・ヘルパー等

小児介護の分野はまだ人材不足。新たな分野にチャレンジして下さる方を広く募集しています。経験豊富なスタッフの研修を受けた上で就業ですので安心して働けます。

詳しくはホームページへ
<http://ainomi.com>

フルーツファーム

フルーツファームがもっと欲しい方はあいの実事務所までご連絡ください。必要部数等をお知らせいただければ無料で送付いたします。また、店頭や公共の場所に置いてくださる方も募集しています。私たちの活動を広く知らせていただくことも大きな支援となります。

賛助会員になりませんか

NPO法人は大勢の方の賛同や支援によって運営されています。賛助会員とは、わたしたちの活動に賛同して下さる方たちのことです。そして、NPOあいの実の活動を多くの方に広めていただく広報係としての役割があります。わたしたちの活動を宣伝していただければと思います。

○賛助会員のお申込みの場合
 個人年会費(一口三千円)
 団体年会費(一口一万円)
 どちらかを選択してください。

●各種お振込先のご案内
 振込みはゆうちょ銀行の専用口座、または銀行口座へお願いいたします。(誠に恐れ入りますが、手数料は別途ご負担願います)

「ゆうちょ銀行からのお振込み」
 口座番号：02210-5-0140782
 口座名：特定非営利活動法人あいの実
 「ゆうちょ銀行以外からのお振込み」
 銀行名：七十七銀行
 支店名：泉パークタウン支店
 預金科目：普通
 口座名義：NPOあいの実理事長 乾祐子
 口座番号：5360757

ご寄付のお願い

わたしたちの施設には、重い障がいをもつ子どもたちのための銭湯があります。医療的ケアがあっても入浴できる広々していて、安全にゆったりとくつろぐことができるお風呂です。

あいの実では、誰もが当たり前のようになれることを皆ができるようになるべきだと考えています。それで、ご家族の負担の多い入浴サービスをを行っています。ご家族からはお風呂代を徴収せず、無料のサービスとして行っています。

もちろん、費用はかかります。設備や物品、人件費を考えると一回あたり500円程かかります。多くの志のある方々から寄付をいただき、このサービスを無料で維持して行けるよう、ご支援をお願いしております。

3,000円のご寄付をいただくと...



重い障がいのある子どもを

6回

お風呂に入れることができます